



# The Japan Academy 日本学士院

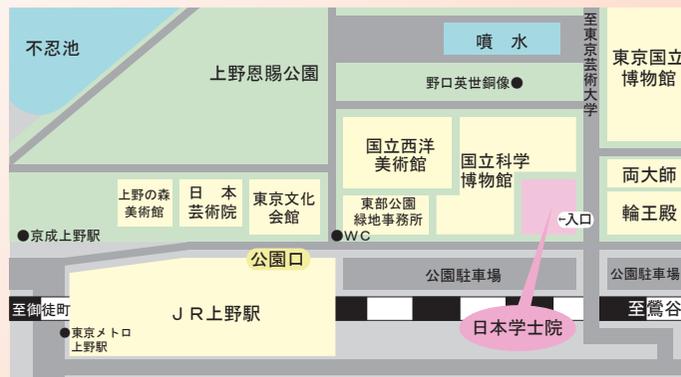
## 1 日本学士院

日本学士院は、学問の様々な分野で立派な業績をあげた研究者をたたえ、わが国の学術の発展に寄与する国の機関です。明治12(1879)年1月15日に創設された東京学士会館が前身で、帝国学士院を経て今日までに130年の歴史を持っています。



日本学士院会館 外観

日本学士院は、パンダで有名な恩賜（おんし）上野動物園がある上野恩賜公園の中にあり、近くには国立科学博物館や国立西洋美術館、東京国立博物館などがあります。



日本学士院会館 周辺地図

野口英世 (1876年—1928年)

大正4(1915)年 帝国学士院賞・恩賜賞授賞

大正12(1923)年 帝国学士院会員選定

写真上野恩賜公園内にある野口英世銅像

## 2 主な活動

日本学士院会員には大きな仕事があります。一つは優れた研究をした研究者に対して賞を与えることです。もう一つは新しい会員を選定することです。これらは大変重要な仕事なので時間をかけて慎重に行われます。

### (1) 授賞

日本学士院が研究者に贈る賞は以下のようなものがあります。

#### ①日本学士院賞・恩賜賞

学術研究で優れた業績をあげた研究者に対して、日本学士院賞を贈っています。この賞は、日本の学術賞としては最も権威ある賞といわれています。恩賜賞は、日本学士院賞の受賞者の中から特に優れた研究者に贈られる賞です。授賞式は毎年一回、日本学士院会館で天皇皇后両陛下ご臨席のもと、おごそかに行われます。



恩賜賞賜品（御紋付銀花瓶）



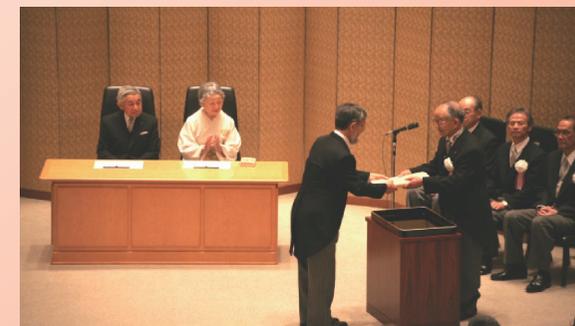
日本学士院賞賞牌

#### ②日本学士院エジンバラ公賞

英国エジンバラ公フィリップ殿下の申し出で昭和62(1987)年に創設された賞です。自然保護に関わる研究で高い業績をあげた研究者に対して2年に1度授与されます。

#### ③日本学士院学術奨励賞

45歳以下の若い研究者に対して贈られる賞で、今後の研究をさらにがんばってもらおうと、平成16(2004)年に創設されました。



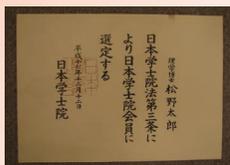
平成20(2008)年度日本学士院賞授賞式の様子

## (2) 会員選定

日本学士院の新会員は会員や大学、研究所等から候補者を推薦してもらい、約1年かけて選びます。130年の歴史を持つ日本学士院ですが、会員はこれまでに735人しか選ばれておりません。



会員選定状授与の様子



会員選定状（見本）



会員徽章

明治時代には、福沢諭吉、その後も北里柴三郎、新渡戸稲造や野口英世、さらにノーベル賞を受賞した湯川秀樹、朝永振一郎などが日本学士院会員として名を連ねています。



初代会長 福沢諭吉

## ノーベル賞を受賞した会員

現在の、日本学士院会員には江崎玲於奈（えさき れおな）や白川英樹、小柴昌俊、野依良治、田中耕一らノーベル賞を受賞した方々がおります。



江崎玲於奈会員



白川英樹会員



小柴昌俊会員



野依良治会員



田中耕一会員

## 3 その他の活動

### (1) 公開講演会

広く一般の方々を対象にして、会員を講師に毎年春・秋2回講演会を実施しています。春季は全国各地、秋季は上野の本院会館で開催し、会員の研究成果を分かりやすく講演しています。

### (2) 出版

会員や会員外の科学者の学術論文を掲載して、国内外に日本の研究成果を発表する学術誌を編集発行しています。



出版物

### (3) 国際交流

ノーベル賞選考で有名なスウェーデン王立科学アカデミーを始め、現在までに海外の9カ国10機関との間に交流協定を結び、相互訪問、学術情報の交換、さらには共同研究を通じて学術の交流を促進しています。

## 4 所蔵史料

日本固有の数学である「和算」に関する書籍、器具等が20000点余りあり、これは国内有数のコレクションとなっています。

また、日本全国を歩いて測量した伊能忠敬関係の資料など貴重図書・資料を数多く所蔵しています。



吉田光由 著『塵劫記』  
1627年（寛永4年）

『塵劫記』は、九九などの基礎知識のほか、面積の求め方などの算術を、日常生活に身近な話題をもとに解説しており、一冊で当時の生活に必要な算術をほぼ学べる数学書でした。江戸時代には一家に一冊はあるほど普及しました。写真はネズミ算を解説しているページです。

## 和算に挑戦してみよう

和算（わさん）とは日本独自に発達した数学のことです。江戸時代には大いに発展し、ヨーロッパの影響外で独自に積分法の発見などがなされました。



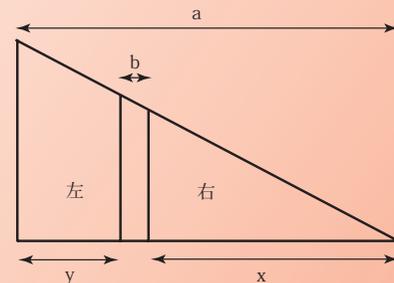
右の図は1674年に池田昌意により書かれた『数学乗除往来』という書物に載っている問題です。

直角三角形を面積が等しくなるように4つに分けるときの各区分の辺の長さを求めるという問題ですが、これを現代風にアレンジし、中学・高校生レベルの問題にすると以下のような問題になります。

息抜きに挑戦してみましょう。解説は本院HPに掲載する予定です。

### 問題

底辺をaとする直角三角形があります。その中に図のように幅bの道筋を底辺に垂直に交わるように入れて、右と左の区画に分けます。ここで右と左の区画を同じ面積にしたい場合、底辺にあたるxとyの長さは、aとbを用いてどのように表されるでしょうか。



答え  $x = \frac{1}{2}(\sqrt{2a^2 - b^2} - b)$   
 $y = \frac{1}{2}(2a - b + \sqrt{2a^2 - b^2})$

日本学士院

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32

TEL: 03-3822-2101 FAX: 03-3822-2105

WEB: <http://www.japan-acad.go.jp/>